

第 189 回

## クラシックファンのためのコンサート

2018年 7月19日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

〈プログラム〉

モーツァルト (1756~1791)

幻想曲 ハ短調 K. 475

ソナタ ハ短調 K. 457

1. molto allegro
2. adagio
3. allegro assai

リスト (1811~1886)

「詩的で宗教的な調べ」より  
第7番 葬送

ハンガリー狂詩曲 第12番 嬰ハ短調

黒瀬 紀久子  
ピアノリサイタル

第189回は黒瀬紀久子氏によるピアノリサイタルが行われました。国内やイタリアで研鑽を積まれリサイタルやオーケストラとの共演、室内楽の伴奏など幅広く活躍されています。前半のモーツァルトの「幻想曲」と「ソナタ」はいずれも‘ハ短調’で書かれ、一緒に演奏されることが多いそうです。ベートーヴェンに影響を与えたこの2曲は性格が似ており、力強く重厚な響きで明るいイメージとは全く違うモーツァルトに触れました。後半のリストでは、黒瀬氏がこの曲が書かれた年に亡くなったショパンへの追悼を感じるという「葬送」、そして19曲あるハンガリー狂詩曲の中で一番好きだという「第12番」が演奏され、美しい響きと情熱的でダイナミックな演奏に会場中が感動しました。



〈ご来場者のアンケートより〉

- ・ベートーベンが大きな影響を受けたというハ短調のモーツァルト、重厚でした。とどろきわたる低音の凄まじい迫力のリスト「葬送」でした。ハンガリー狂詩曲は生れ出たかのように美しい高音部でした。つる思いと走り去る音域、それぞれに違うハ短調と嬰ハ短調を楽しみました。
- ・ピアノで表現出来る最高の世界を味わうことが出来て満ち足りた気分です。
- ・モーツァルト、リスト、各々の心の深い所から溢れ出る人間性が哲学的に音楽に表れていることをしみじみ感じました。立体的で多彩で心を動かされました。人生の深い歩みがあってこそその演奏だったと思います。
- ・暑さを吹き飛ばすパワーを感じた。超絶技巧は美しかった。アンコールのショパンでは心が洗われた。素晴らしかった！

NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB [classicfan.jp](http://classicfan.jp) MAIL [contact@classicfan.jp](mailto:contact@classicfan.jp)